

ニュースレター

第37号 2025年7月 吉日発行
難病医療相談支援室
浜松医科大学医学部附属病院内
〒431-3192 浜松市中央区半田山1-20-1
TEL/FAX 053-435-2477



暑さが本番を迎えます。皆様いかがお過ごしでしょうか



令和7年度 難病医療従事者講習会（対面）について

今年度は、以下のように対面の難病医療従事者講習会を開催いたします。
ご多忙のこととは存じますが、皆様と学びの場の共有ができますことを
楽しみにして難病医療相談支援室職員一同お待ちしております。

【開催日時】 令和7年10月17日（金）13時30分～16時30分まで

【開催場所】 JR静岡駅ビル内 パルシェ7階 第2・3会議室

【講習会】 1 <テーマ> パーキンソン病との上手なつきあい方

<講師> 浜松医科大学医学部附属病院 脳神経内科

特任教授 中村友彦 先生

2 <テーマ> パーキンソン病の病期を考慮した

リハビリテーションと在宅療養の工夫

<講師> 北斗わかば病院 リハビリテーション部

科長 認定理学療法士 松下太一 先生

【参加方法】 nanbyou-manabi@hama-med.ac.jp ^

氏名・所属・職種・メール受信可能なメールアドレスをご記入・
送信し、当日、開催場所までお越しください。（定員100名）

【申込締切】 令和7年10月15日（水）

※ 資料準備・緊急連絡のため、各自でのお申し込みをお願い
致します。

自然災害等による突然の中止等は、一斉送信（BCC）で
お知らせ致します。

【開催場所のご案内】 [アクセス | パルシェ](#)



講師・講義のご紹介



<中村友彦 先生>

こんにちは。

浜松医科大学神経・難病センターの中村です。

普段は脳神経内科の診療をメインに行っております。

縁あって4年前に名古屋から浜松に移ってきました。

浜松は食べ物が美味しいとても居心地のいい街ですね。

末永くよろしくお願ひします。

講師の先生方の自己紹介と
ご講義の紹介です。



<講義内容>

パーキンソン病といえば、「動作が遅くなる」「手が震える」といった症状がよく知られています。しかし実際には、立ちくらみ、便秘、尿漏れ、疲れやすさ、不眠など、さまざまな症状が現れる病気です。超高齢社会を迎えた今、患者数は増加しており、現在はおよそ20万人といわれています。65歳以上では、100人に1人が発症するとも報告されており、要介護となる原因疾患の一つとしても代表的です。多様な症状を呈するパーキンソン病を正しく理解することで、日常生活でのさまざまな問題への対応力が高まるはずです。

本講演では、パーキンソン病の特徴や症状、そしてその対策について、わかりやすくお話しします。



<松下太一 先生>

磐田で生まれ育った静岡人です。大学時代は岡山で過ごしました。現在の職場で神経難病に関わるようになって15年になります。難しいことも多いですが、その中で何か役に立てることができたらと思いながら、日々コツコツと業務に取り組んでいます。

<講義内容>

今回はパーキンソン病のリハビリテーションについてお話しします。進行に応じてさまざまな症状が現れるため、早期・進行期に分けて整理し、それぞれに合ったリハビリテーションの考え方や実際のアプローチをご紹介します。また正解が見つかりにくい支援の現場だからこそ、患者様・ご家族との関わりについても一緒に考える時間にできればと思っています。

ぜひお気軽にご参加ください。

松下先生には、第3回難病医療従事者講習会
(Web) でもご講義頂きます。



お待ちして
おります。



<連絡先>

浜松医科大学医学部附属病院 難病医療相談支援室

TEL/FAX 053-435-2477

メールアドレス nanbyou-manabi@hama-med.ac.jp